



東京女子医科大学学術リポジトリ
<https://twinkle.repo.nii.ac.jp>

Identification of periodontal bacteria from carotid artery plaque in chronic periodontitis patients

著者名	守田 誠吾
発行年	2013-10-18
URL	http://hdl.handle.net/10470/30295

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2790 号	氏 名	守 田 誠 吾
審 査 委 員 会	主 査 教 授	安 藤 智 博	
<p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>本論文は頸動脈狭窄症患者で頸動脈剥離術が行われた患者から得られた頸動脈プラークサンプルに歯周病原菌 5 菌種について DNA が存在するか否かを PCR 法を用い調べ、歯周病の重症度との関係について検討したものである。結果は歯周病原菌由来の DNA が 16 例中 13 例に検出され、最も高頻度に検出された菌種は <i>Porphyromonas gingivalis</i> であった。また、パノラマ X 線写真で歯槽骨の吸収が 20% を超える症例はそれ以下の症例と比較し多種の歯周病原菌が頸動脈プラークから検出された。頸動脈プラーク中から歯周病原菌由来 DNA が検出されることを示し、歯周病が重症化するほど菌種が増加することより歯周病と頸動脈狭窄との関連を示唆した。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			